

研修の効果

2回実施する報告会の各回で、各自の研修目的の到達度(4段階)と研修に対する感想や意見を書いてもらった。到達度の結果は表2のとおりである。

表2 受講者の研修目的の到達度 自己評価

| 受講年度 | 受講者数 | 報告会 | 回答数 | 到達できた | やや到達できた | あまり達成できなかった |
|------|------|-----|-----|-------|---------|-------------|
| 平成22 | 12 | 第1回 | 11 | 3 | 7 | 0 |
| | | 第2回 | 9 | 0 | 9 | 0 |
| 平成23 | 8 | 第1回 | 6 | 3 | 3 | 0 |
| | | 第2回 | 6 | 0 | 3 | 3 |
| 平成24 | 5 | 第1回 | 4 | 2 | 2 | 0 |
| | | 第2回 | 4 | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | 25 | 第1回 | 21 | 8 | 14 | 0 |
| | | 第2回 | 19 | 0 | 14 | 5 |

研修の効果 (受講生の感想・意見より)

第1回報告会終了後の感想・意見には平成22～24年度のすべてにおいて、「研修受け入れ先の対応がとても良かった」という声があり、研修先で「専門性を発揮して生き活きと実践している助産師の姿に触れて勉強になった」「今までの助産ケアを振り返る機会となった」「自分たちが実施して楽しい、やりがいがあるケアを実践していきたいと思った」など、研修先の助産師との出会いを通して、助産師としての自分を見つめる機会となっていた。

また、実践型の研修により、助産ケアの具体的な実践状況やマニュアルの把握など、施設見学では見えにくい部分が学べることは、本研修の特徴といえる。

研修によって鼓舞された助産実践へのモチベーションは時間の経過とともに低下する傾向があり、約2か月毎に2回実施する報告会は、モチベーションの維持にも必要なことと思われた。

研修での学びを職場の実践に還元していくには時間を要するが、他のスタッフに理解してもらう方策や他職種との連携について工夫を積み重ね、できることから実践していた。複数年にわたり研修受講者のいる職場では、還元への取り組みを継続するモチベーションを維持しやすい様子があった。



施設研修前の結団式でのグループワークの様子

各自の課題と目的を共有し、
どんな研修ができるか
考えています・・・



第1回報告会の様子

施設研修で得た学びを
研修仲間に報告！

目からうろこの体験も・・・

大変だったこと困ったこと・今後の課題

施設研修に関して

- ・ 職場で施設研修の日程を確保することが難しい
- ・ 研修生の立場として妊産婦にどこまで手をかけてよいか戸惑った

研修成果の職場への還元について

- ・ 日々の業務の中で研修成果を還元していくことが難しい
- ・ スタッフに伝えていく時間がとれず、職場への還元時間に時間を要する

前年度研修生の感想

- ・ 受講生の発表を聞いて、共感したり前年度の自分の思いがよみがえった
- ・ 研修での成果を活かして着実に一步一步前進していることが実感できた
- ・ 他の病院での実践の共有の場となるのが良い
- ・ 助産師同士が集まり、情報や課題を共有することが非常に有意義

第2回報告会の様子



おわりに

岩手県の中堅助産師を対象とした、派遣型・実践型の研修は、4～6日間の期間に先駆的な実践をしている助産師から具体的な助産ケアと学ぶとともに、助産師としての自分を振り返る機会にもなっていた。

先駆的な実践を行う施設での研修を効果的に行い、日々の実践に学びを還元しやすくするために、研修目的をより明確にする施設研修前の受講者のグループワークや施設研修後に研修内容を報告・共有する施設研修後の報告会・グループワークの実施は有効であったと考える。

また、研修受講者が複数回顔をあわせ、助産ケアの向上という共通の目的のもとに情報共有し、一緒に考える機会は、研修における知識・技術の習得だけでなく、助産師同士の横のつながりを強める効果もあった。

さらに、前年度研修生も一緒に語り合うことは、研修での学びを職場へ還元する取り組みを継続する意欲を高める一助となっていた。

東日本大震災で被災した岩手県において、「助産師としての役割は何か」、「助産師としてできることは何か」を施設や勤務経験年数の壁を超えて、話し合う機会は貴重であり、本研修を通して岩手県内助産師の「つながり」を支援する意義は大きいと考える。

助産実践能力強化研修を修了した助産師



受講生にとって、研修の進め方や施設研修で良かった点

研修前のグループワーク

- ・ 前年度の研修生のアドバイスがとても役に立った
- ・ 前年度の研修生との交流で情報を得ていたので、イメージしやすく、研修に入りやすかった

施設研修

- ・ 研修を通して自施設で行われている助産ケアやシステムを見直す機会になった
- ・ 助産師の力を最大限に発揮している姿に触れることができ勉強になった

報告会

- ・ 他の研修先の情報や施設の現状を知ることができた
- ・ 同じ課題を抱えているスタッフたちと意見交換ができ、一緒に考えることができた
- ・ 助産師同士が集まり、情報や課題を共有することが非常に有意義だった
- ・ 他の受講者の報告を受け、自施設でも取り入れたいと思った